

東北PTA研修に参加して



七月六日に第六七回東北地区高等学校PTA連合会郡山大会がビックパレットふくしまで開催されました。渡部美枝子PTA会長、鈴木睦治校長をはじめ総勢十名で参加してきました。会場入り口には平成二九年度の東北地区高P連広報紙コンクールで優秀賞に輝いた葵高校のPTA会報が展示されているのを誇らしく見ながら会場入りしました。

午前は和合亮一さんの詩の朗読のオープニングから開会行事が始まり、その後の研究協議として、各県からの発表がありました。各学校の発表で各高校のPTA活動の様子がわかりました。



お昼には、皆さんで郡山駅の有名な駅弁「海苔のり弁当」を食べながら、高校生の発表を見ました。県立埼玉工業高校の和太鼓部の力強い演奏と県立郡山商業高校のチャリデーイング部の美しく、華やかな踊りでした。

午後は、ソウルオリンピックの柔道競技で銅メダルを取った筑波大学体育系教授の山口香さんが「スポーツ力子どもたちの未来に向かって」と題した講演でした。スポーツをとおして子どもを育てる意味やコーチングのポイント、子育てにも通じるいろいろな例をあげ、わかりやすく、ユーモアのある講演でした。その後、郡山市内七高校、総勢三百九十人による合唱と管弦楽の迫力ある演奏がおこなわれました。大変盛りだくさんで充実した一日になりました。(総務部)

学年保護者懇談会報告

第三学年懇談会について

六月三十日(土)に第三学年保護者懇談会が行われ、保護者一三四名が参加なさいました。第一部は菊波先生が、学年と大学受験の現状について話されました。特に私立大学の定員厳格化により、文系私大が難化したことには衝撃でした。昨年度の三年生の受験結果を踏まえた説明により、我が子の受験校を考える上で大変参考になりました。第二部は、河合塾の大場 正浩先生からの講演でした。自身が浪人クラスの担当をされていることで、浪人生と現役生とを比較したお話は大変面白く参考になりました。現時点でA判定が多く出る浪人生に対して、現役生はこれから伸びるので、今の結果で叱るのでなく、長い目で見て欲しいというお話には、ハッとさせられました。また、なかなか勉強に取り組まない子どもに對しては、正直に学費の問題を含めて現状を話すべきだと言われ、親としての心構えができた気がします。今回の講演会は、親としても気持ちを持ち替える良い機会となりました。

第一学年懇談会について

五月二十六日(土)に会津大学大講義室において一学年保護者懇談会が行われ、保護者一三四名が参加なさいました。第一部は菊波先生が、学年と大学受験の現状について話されました。特に私立大学の定員厳格化により、文系私大が難化したことには衝撃でした。昨年度の三年生の受験結果を踏まえた説明により、我が子の受験校を考える上で大変参考になりました。第二部は、河合塾の大場 正浩先生からの講演でした。自身が自身が浪人クラスの担当をされていることで、浪人生と現役生とを比較したお話は大変面白く参考になりました。現時点でA判定が多く出る浪人生に対して、現役生はこれから伸びるので、今の結果で叱るのでなく、長い目で見て欲しいというお話には、ハッとさせられました。また、なかなか勉強に取り組まない子どもに對しては、正直に学費の問題を含めて現状を話すべきだと言われ、親としての心構えができた気がします。今回の講演会は、親としても気持ちを持ち替える良い機会となりました。



路指導部の高橋敏哉先生から、「入試制度と受験生の保護者としての心構え」という題でお話を伺いました。その後、学年主任の白井健郎先生から学年の進路指導の方針として、担任の先生方から文理選択のことについてお話がありました。

講演では、大学進学に向けて具体的なお話を聞くことができ、意識改革ができたという保護者の方もいらっしゃいました。また、先生と子供の面談の機会を設けてほしいとか、早くから小論文の指導をしてほしいというご意見もありました。

文理選択については、早めに方向性を決めるために、これから子供といろいろお話をしたいと改めて思いました。

全体として、学級懇談の時間がほしいとか、もう少し短い時間でというような反省もありました。進路対策委員会でもいろいろな反省が生まれましたが、今後に向けて話合って行きたいと思えます。(進路指導委員会)

編集後記

何度かの編集会議を行いようやく第七九号をお届けすることができました。「特集」では、委員で手分けしてあちこちのお店で写真を撮らせてもらいました。どこでも快く掲載を承諾してくださり感謝しております。いろいろ食べ歩いてなにより楽しい時間でした。中には就労支援継続A型事業所の運営するカフェがあり、障がいや病気のある方々が働いているというのを知りました。皆さん懸命に働いていらつしやるのが印象的でした。それぞれのお店でいろいろなお店を持って食事を提供していることをあらためて考えました。家族でぜひ「外食」について話題にしていただけは幸いです。

ゲイリー先生は夜遅くまでインタビューに付き合ってくださいました。ユーモアもあり、とてもすばらしい先生でした。英語を学び直そうかと思ってしまうました。

